令和８年９月19日

神奈川県立川崎北高等学校
令和８年度　第２回学校運営協議会　議事録

〇配付資料確認
①本校文化祭パンフレット
②令和８年度川崎北高等学校学校運営協議会　部会について（案）
③令和９年度入学生用教育課程表（策定途中）

1. 川崎北高等学校長あいさつ

細川校長：ご多忙の中、また雨天にもかかわらずご来校いただき感謝申し上げる。本日は文化祭における生徒の様子や学校の雰囲気をご覧いただき、本校の教育活動や学校運営についてご意見をいただきたい。学校説明会では体験授業を実施するなど、本校の特色を発信する取組を進めていく。

2. 構成メンバーの確認

大島様（有馬町会長）、當間様（PTA 会長）、冨士川様（同窓会会長）、藤岡様（高津支援学校長）が出席した。竹内様（有馬中学校長）、吾妻様（有馬小学校長）、金澤様（桐蔭横浜大学）は欠席であった。過半数の出席により、本会の成立が確認された。

3. 協議事項

（1）学校行事に対する生徒の取組について

安井副校長：資料①に本日の文化祭の企画一覧を掲載した。体育館耐震工事のため、中庭を発表場所として活用している。今年度はキャッシュレス決済（au PAY）を導入した。安全に配慮しながら、後夜祭まで無事に実施できるよう取り組んでいる。PTA 企画も大変好評である。

當間 PTA 会長：文化祭では、生徒が楽しそうに活動する様子が見られる。PTA 企画の制服リサイクルも好評で、必要な方に活用していただいている。今後もさまざまな機会に活用の場があるとよい。

藤岡高津支援学校長：分教室の生徒が川崎北高校の文化祭で活動できることをありがたく思う。一緒に活動することは、生徒たちにとって大変有意義である。

冨士川会長：文化祭では安全面への配慮を大切にしてほしい。また、生徒が安心して楽しめることを第一に、多様な企画に取り組んでほしい。

當間 PTA 会長：お化け屋敷では入場方法や待機時間中の取組などに工夫が見られ、生徒が主体的に企画を運営していた。

冨士川会長：学校行事を実施する際には、引き続き安全管理を徹底しながら、生徒の創意工夫を大切にしてほしい。

（2）部会について

安井副校長：学校運営協議会では学校評価部会を必置とし、本校では加えて地域連携部会を設置したいと考えている。学校評価部会と地域連携部会の構成案について提案する。

細川校長：部会に分かれた場合でも、引き続き幅広くご意見をいただきたい。小・中学校との連携や地域との協働を進めていきたいと考えている。

當間 PTA 会長：地域連携部会の位置付けや、部会設置による効果について確認したい。

細川校長：基本的な方向性はこれまでと変わらず、より効果的な学校運営や地域連携につなげていきたい。PTA 会長には保護者の立場からのご意見もいただきたい。

藤岡高津支援学校長：分教室としても、地域と連携できる取組があれば参加していきたい。

細川校長：ご意見を踏まえ、学校評価部会は同窓会・大学・PTA、地域連携部会は自治会・小学校・中学校・特別支援学校を中心に構成していきたい。

冨士川会長：他校では地域連携の取組が進んでいる。本校でも地域とのつながりをさらに広げていけるとよい。学校評価においては外部の視点も重要である。

細川校長：学校評価については、桐蔭横浜大学の協力も得ながら進めていきたい。

冨士川会長：特別支援学校については、両部会に関わる存在として協力いただくことも考えられる。

（3）令和 9 年度入学生用教育課程について

安井副校長：第 1 回で提示した教育課程案から一部変更を行った。「キャリアデザイン」は「キャリア探究」へ名称を変更した。また、学校設定科目「アカデミックスキル（仮称）」では、小論文や面接等の力を高めるとともに、キャリア形成支援の視点を取り入れたいと考えている。 多様な進路希望に対応できるよう、複数の選択パターンを用意し、生徒一人ひとりに応じた科目選択ができるカリキュラムを目指している。学校説明会等でも丁寧に説明していきたい。

細川校長：進学希望者への支援を充実させるとともに、生徒の多様な進路実現に対応できる教育課程としていきたい。

冨士川会長：生徒の実態や進路希望に応じた柔軟な教育課程づくりは重要である。学校設定科目の活用による進路支援にも期待したい。

細川校長：キャリア探究や学校設定科目を活用し、一人ひとりに応じた学びと進路支援の充実を図っていきたい。

冨士川会長：面接指導や進路準備の充実は、生徒の進路実現に向けて有効な取組になるだろう。

安井副校長：アカデミックスキルについては少人数での実施を想定している。

4. 事務連絡

安井副校長：第 3 回学校運営協議会は 11 月中旬から下旬に開催予定である。公開研究授業の参観及び討議を実施する予定である。

5. 閉会

細川校長：文化祭では、生徒が主体的に活動し来場者を楽しませようと工夫している様子である。今後も各団体が特色ある企画に挑戦しながら、より充実した学校行事となることを期待している。本日はありがとうございました。